

2017-B

VI45B

拠出金・基金
の名称

国際農業研究協議グループ拠出金／国際熱帯農業研究所(IITA)

種 別

イヤマークのみ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】国際農業研究協議グループ(CGIAR)／国際熱帯農業研究所(IITA)

【所管官庁担当局課・室名】

農林水産省大臣官房国際部海外投資・協力グループ／農林水産技術会議事務局国際研究官室

【当該任意拠出金の目的・用途等】

アフリカの食料・栄養不足の改善及び農家・加工業者・消費者の生活水準の向上に貢献するため、アフリカにおいて食料及び換金作物として重要なマメ類及びイモ類の生産性の向上を目指した研究開発及びその普及を支援する。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成29年度	46,664	424	-	1米ドル=110円	100
平成28年度	54,898	457	-	1米ドル=120円	100
平成27年度	53,460	486	-	1米ドル=110円	100

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

IITAはCGIAR傘下の研究機関であり、熱帯アフリカ地域における農業生産、食料安全保障、収入を向上させることを目的とする。

従来から邦人専門家が滞在して共同研究を実施しており、マメ類やイモ類などの生産性向上に資する成果を挙げている。これら作物の研究蓄積を活用し、開発途上国の持続的農業の発展、さらには世界の食料供給の安定化に貢献することが重要である。

このため、我が国のIITAへの拠出金により、(1)高付加価値ササゲ品種の開発とその種子の生産システムによる普及の迅速化と有効性検証、(2)イモ類の増産技術の普及と生産物の高付加価値化のための技術開発を実施しており、その意義は極めて大きい。

【備考】